



北の台小学校の学年発表会に招待される

今回は2・4・6年生が発表

北の台小学校では、5月31日（金）に2・4・6年生の“学年発表会”を催しましたが、今回も大勢の保護者や地域の高齢者の皆さんと共に、大上地区社協の下校時見守り会員も招待されました。

当日は、同校体育館で午前9時から2年生73名による音楽劇「アイウエオリババ」の発表から始まり、4年生の71名による音楽劇「魔界とぼくらの戦争劇」、そして6年生77名による北の台太鼓「『進』かがり火太鼓より」が披露され、日頃の練習の成果を存分に発揮した児童の演技に、見学者は盛んな拍手を送っていました。

特に6年生の北の台太鼓の演技が終了し、西木校長の挨拶が終わったところでアンコールの拍手が湧き起こり、再演するという盛り上がりもみせていました。

今回は、大上地区社協から市ノ澤会長以下の11名が出席して児童の熱演に見入ると共に、会員から“何時も下校時に顔を合わせる子ども達が一生涯懸命に演技している姿に、

感動しました。これからも児童が事故に遭遇しないよう、しっかりと見守ってやりたい。”と語っていました。

なお1・3・5

年生の学年発表会は11月に催される予定です。



2年生の音楽劇の演技



4年生の音楽劇の演技



6年生の北の台太鼓の熱演



地区社協会員も招待される（右側の列）

児童の下校時見守りは、今日も行なわれています！

大上地区社協では、校区の綾北小学校と北の台小学校の児童の下校時間帯に合わせて、会員が毎日見守りを実施しています。

下校時の見守りが始められたのは平成18年1月からで、今日まで下校時の事故は発生していません。ただ、最近は見守る会員が少人数になりつつあります。会員の中で見守りに協力して頂ける方は、ぜひ参加して下さい。



下校する児童を見守る会員